



# 進路だより

福島県立いわき支援学校 進路指導部

第4号

令和5年 9月22日 発行

## 企業・施設見学会

7月26日(水)に小・中学部の教員を対象とした企業・施設見学会を行いました。今年度は、卒業生が働いている就労継続支援 B 型事業所と生活介護事業所を中心に、3つのコースに分かれて見学しました。卒業までに身に付けるべき力や指導のあり方について情報交換をしたり、実際に働いている方々の様子などを見て各事業所の特徴や運営方針について理解を深めたりすることができ、大変充実した見学会となりました。

### Aコース

- ・ワークハウスいわき(B型)
- ・のはら(生活介護)
- ・晴レル家(つばさ・B型)
- ・フルクテン(B型)

### Bコース

- ・創造空間(B型、生活介護)
- ・みらい(B型)
- ・いわき学園(B型、生活介護)

### Cコース

- ・いわき希望の園(B型、生活介護)
- ・天真庵(B型)
- ・自由空間(生活介護)



のはら



晴レル家



創造空間



いわき希望の園



自由空間

## 小・中学部進路ミニセミナー

7月12日(水)に小・中学部進路ミニセミナーが行われました。高等部の職員が講師を務め、小学部、中学部の職員全員が、「一般企業・就労継続支援 A 型事業所への就労について」、「就労継続支援 B 型事業所への就労について」、「生活介護事業所の利用について」のグループに分かれ、各進路先に向けた進路学習や支援の実際について確認する場となりました。

セミナーの後には、「小学部、中学部の段階でどのような力を身に付けていけば良いのかを確認することができた。」「社会生活をしていくために必要な基本的な力(挨拶・返事・困った時の支援依頼の仕方など)を小学部段階から家庭と協力して指導していきたい。」という声が聞かれ、充実した会となりました。各学部での連携を密にし、児童生徒の「自立と社会参加」を意識しながら、これからも各学部が協力して進路指導をしていきたいと思ひます。



# 第11回特別支援学校作業技能大会報告

8月4日(金)に、郡山市のビッグパレットふくしまを会場に、「第11回特別支援学校作業技能大会～夢に向かってテクノチャレンジ2023～」が開催されました。

この大会は、高等部の生徒が日頃の学習の成果を発表し、外部専門家から客観的な評価を受けて、卒業後の進路実現や自立と社会参加に向けた技能や意欲を高めることをねらいに開催されています。

作業検定部門には、「ビルクリーニング部門」「喫茶接客サービス部門」「PC データ入力部門」「店舗販売(品出し)部門」があり、本校からは11名の高等部生徒が参加しました。

## 【検定部門の結果】

ビルクリーニング部門 (3名参加)	【ダスタークロスの部】1級:3名 【モップの部】1級:2名 2級:1名 【テーブルクロスの部】1級:3名 審査員特別賞「ベストクリーン賞」(各部門の最優秀者受賞)
喫茶接客サービス部門 (4名参加)	1級:2名 2級:2名
パソコンデータ入力部門 (2名参加)	4級:1名 5級:1名
店舗販売(品出し)部門 (2名参加)	1級:1名 2級:1名



ビルクリーニング部門の様子

## 【作業製品品評部門】

紙工製品部門	襖紙エコバッグ	最優秀品質賞
革工製品部門	スマホショルダー	最優秀品質賞
窯業製品部門	丸鉢	銀賞



襖紙エコバッグ



スマホショルダー



丸鉢

## 第22回福島県障がい者技能競技大会ーふくしまアビリンピック 2023ー

高等部2年生の今井星伶愛さんが、7月8日に福島市のポリテクセンター福島で開催された「第22回福島県障がい者技能大会」へ出場し、喫茶サービス競技で銅賞を受賞することができました。

「アビリンピックに出場して」 今井 星伶愛

私は、第22回福島県障がい者技能競技大会に出場しました。私は今年から作業学習で、サービスワーク班の中にある喫茶接客サービス班に所属しました。喫茶接客サービス班は、喫茶接客に関わる仕事の勉強をしています。練習で頑張ったことは、テキパキ歩くことと、声の大きさとおじぎの角度を意識して取り組んだことです。

アビリンピック当日は、とても緊張しましたが、今までの練習の成果を出し切ろうと最後まで集中して挑むことができました。その結果、銅メダルを取ることができました。驚きと同時にとてもうれしかったです。今まで先生方や友達みんなに応援してもらい、とてもうれしく感謝しています。ありがとうございました。今後の目標は、作業学習の成果を生かして、また挑戦したいと思います。

